



2022年  
4月6日  
No.A21-12

中東調査会は個人及び法人会員の賛助会費により運営されている非営利の公益財団法人です

## 中東調査会月間活動誌 (2022年3月)

### 1. 中東調査会主催の行事

(1) トップ・ミーティング

・3月14日(月)、兼原 信克 同志社大学特別客員教授「ウクライナ戦争と台湾有事への教訓」  
(於：オークラ東京)



<要旨>

講師より、ロシアがウクライナに軍事侵攻した背景として、ソ連及びロシアの伝統的な安全保障観や周辺諸国との関係の説明があった。また、今後のウクライナ情勢のありうる展開や、中国への影響、台湾有事における中国・台湾・米国・日本のシナリオが考察された。

(2) 中東情勢オンライン講演会

・3月9日(水)、河野 章 駐アルジェリア特命全権大使「最近のアルジェリアの政治経済情勢～コロナ禍における「新生アルジェリア」の行方～」(Zoom形式)

<要旨>

大使より、2019年12月に選出されたテブン大統領の掲げる「新生アルジェリア」の政治経済を巡る最近の動きについて説明がなされた。質疑では、アルジェリア国民の政治への関心、

輸入抑制措置、化石燃料の生産・輸出動向、農業開発、ウクライナ危機への対応などについて多数の質問が出た。



(3) 中東情勢分析発表会

・3月18日(金)、第24回オンライン中東情勢分析発表会 (Zoom形式)  
演題:「最近のトルコ情勢」(研究員 金子 真夕)



<要旨>

金子研究員より、2023年に実施予定の大統領・議会選挙へ向けた現在のトルコの内政状況と、対ロシア関係を含む外交動向について説明がなされた。質疑では、ウクライナ・ロシア間の仲介の役割、東地中海でのガス田問題、トルコ国内におけるイスラーム過激派の動向、アフガニスタン情勢へのトルコの関与などについて多数の質問が出た。

## 2. 中東調査会の活動

### (1) 中東トピックスの発行【会員限定】

- 2022年3月号(2022年4月6日付)
- 1. イスラエル：アラブ人／パレスチナ人によるテロ事件が連続
- 2. アフガニスタン：近隣諸国主導で活発な対外活動が展開
- 3. UAE：ウクライナ情勢をめぐり、ロシア包囲網からは一定の距離
- 4. イエメン：国内での戦線移動とサウジへの攻勢
- 5. トルコ：林芳正外相との会談
- 6. モロッコ：西サハラ問題でスペインと関係改善へ
- 7. イラン：新年のスローガンを「生産：知識ベース、雇用創出」と発表

※内容はホームページをご参照ください。

([https://www.meij.or.jp/trend\\_analysis/topics/](https://www.meij.or.jp/trend_analysis/topics/))

### (2) 中東分析レポートの発行【会員限定】

- No.13「フランスの中東政策の新指針——湾岸諸国との関係強化の狙い——」(3月8日)
- No.14「ロシアのウクライナ侵攻と中東地域——中東諸国側の反応、中東諸国への政治・経済的影響——」(3月28日)

※内容はホームページをご参照ください

([https://www.meij.or.jp/trend\\_analysis/report/](https://www.meij.or.jp/trend_analysis/report/))

### (3) イスラーム過激派モニターの発行【会員限定】

- No.17「「イスラーム国」の新首領にアブー・ハサン・ハーシミー・クラシー」(3月11日)
- No.18「「イスラーム国」新カリフに対する各「州」の忠誠表明」(3月23日)
- No.19「「イスラーム国サヘル州」の誕生とサヘル地域情勢の展望」(3月30日)

※内容はホームページをご参照ください。

([https://www.meij.or.jp/trend\\_analysis/monitor/](https://www.meij.or.jp/trend_analysis/monitor/))

### (4) 中東かわら版の発行

- No.117「アルジェリア：ウクライナ危機を受け、欧州向けガス輸出の増加方針」(研究員 高橋雅英、3月1日)
- No.118「アフガニスタン：敵対勢力の鎮圧に向け、ターリバーンが掃討作戦を実行」(研究員 青木健太、3月2日)
- No.119「トルコ・UAE：エルドアン大統領のUAE公式訪問」(研究員 金子真夕、研究員 高尾賢一郎、3月2日)
- No.120「UAE：ウクライナ情勢を受けてアブダビ皇太子がプーチン大統領と電話会談」(研究員 高尾賢一郎、3月2日)
- No.121「イスラエル：ベネット首相がモスクワを訪問、プーチン大統領と会談」(上席研究員 金谷美紗、3月8日)
- No.122「イラン：ロシアのウクライナ侵攻を受けてウィーン協議が複雑化」(研究員 青木健太、3月8日)
- No.123「リビア：東部の議会が新政府を承認、再び「1国2政府」へ」(研究員 高橋雅英、3月8日)
- No.124「シリア：ウクライナでの戦闘任務にシリア人をリクルートの情報」(研究員 上席研究員 金谷美紗、3月9日)
- No.125「トルコ：イスラエル大統領の14年ぶりトルコ公式訪問」(研究員 金子真夕、3月10日)
- No.126「トルコ：ロシア・ウクライナ・トルコ外相の3カ国協議の実施」(研究員 金子真夕、3月11日)
- No.127「リビア：ロシア産ガスの代替調達先としてのリビア」(研究員 高橋雅英、3月18日)
- No.128「シリア・UAE：アサド大統領のUAE訪問」(上席研究員 金谷美紗、3月22日)
- No.129「アフガニスタン：アフガン暦新年を迎えるも、ターリバーンが女子教育再開を撤回」

(研究員 青木健太、3月24日)

No.130「イスラエル：ハデラでの警官射殺事件に「イスラーム国」が犯行声明」(上席研究員 金谷美沙、3月28日)

No.131「イエメン：サウジ石油施設への攻撃とイエメン戦争の進捗」(研究員 高尾賢一郎、3月29日)

No.132「GCC：欧米のロシア包囲網に与しない姿勢を改めて示唆」(研究員 高尾賢一郎、3月29日)

No.133「イスラエル：アラブ諸国外相と多国間会談「ネゲブ・サミット」を開催」(上席研究員 金谷美沙、3月29日)

No.134「チュニジア：改憲に向けた国民協議の終了」(研究員 高橋雅英、3月30日)

No.135「イスラエル：ブネイ・ブラクでパレスチナ人による乱射事件、5人死亡」(上席研究員 金谷美沙、3月30日)

No.136「トルコ：イスタンブールでウクライナ停戦協議を開催」(研究員 金子真夕、3月30日)

No.137「チュニジア：大統領が議会を解散」(研究員 高橋雅英、3月31日)  
(<https://www.meij.or.jp/kawara/>)

#### (5) その他の活動

- 3月4日(金)、研究員 青木健太「ターリバーンの台頭と日・パキスタンへの影響」\*外務省講師派遣事業の一環で、パキスタンのシンクタンク「イスラマバード政策研究所(IPRI)」と在パキスタン日本国大使館が共催するオンライン・イベント「アフガニスタンと南アジア」に登壇した。

### 3. その他 (要人往来)

- 15日、岸田首相はアブダビのムハンマド・ビン・ザーイド皇太子と電話会談した。
- 17日、岸田首相はサウジアラビアのムハンマ

ド皇太子と電話会談した。

- 19日、林外相はトルコのチャウシュオール外相と会談した。
- 20日、林外相はアラブ首長国連邦のアブドゥラー・ビン・ザーイド外務・国際協力相と会談した。
- 27日、林外相はチュニジアのジャランディー外務・移民・在外チュニジア人相とエジプトのシュクリー外相それぞれとテレビ会談した。

### 4. 4月の予定

- 4月20日(水)、8:30~10:00、於：オークラ東京プレステージタワー7階「メイプル」、トップ・ミーティング(姜昌一 駐日本国大韓民国 特命全権大使)「日韓関係の現状と展望」\*法人会員限定
- 4月22日(金)、16:00~17:30、中東情勢オンライン講演会(遠藤 彰 シリア臨時代理大使「12年目に突入したシリア危機と最近の情勢」)(Zoom形式)

※やむを得ない事情により、日時や会場が変更になることもございますのでご了承ください。また、この他にもイベントを開催することもございます。詳細等と併せまして、配信メールやHPをご参照ください。

(<https://www.meij.or.jp/event/>)

### 5. 出版物刊行のご案内

- 3月4日、『別冊・中東研究：中東各国動向(2021)』(定価：本体2000円+税)が発行されました。1年間の中東各国動向をまとめた「日誌データ」、重要なニュースをピックアップして解説した「かわら版」、会員限定レポート「イスラーム過激派モニター」、及び、特別書き下ろし「9.11から20年—中東諸国の政治・対外関係の変化」を所収しております。是非お手に取ってご覧ください。

※通常の『中東研究』とは異なり、会員向け配布はございません。

(<https://www.meij.or.jp/publication/chutoukenkyu>)

\*会員の皆様は、どなたでも会員限定ページをご覧になれます。

\*ログインに必要なIDとパスワードは、御社の当会担当窓口にお問い合わせください。